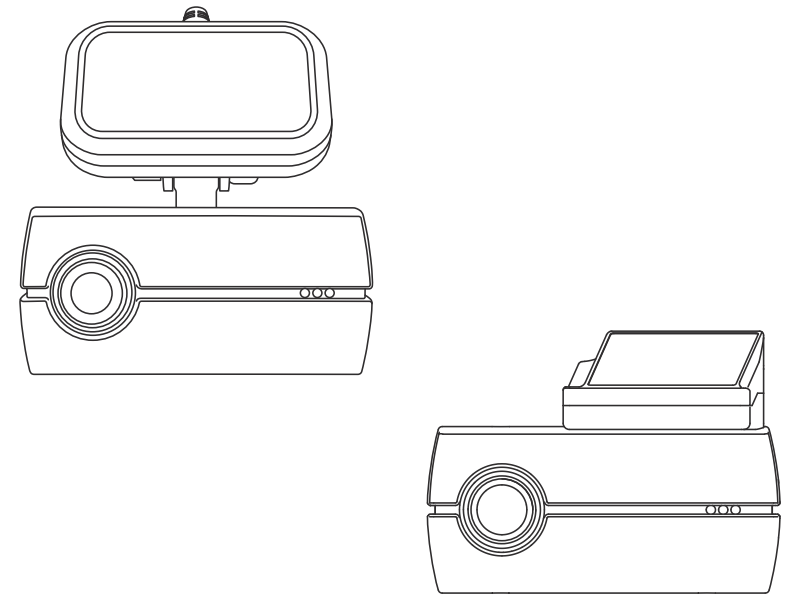




ドライブレコーダー Full HD

取扱説明書



部品番号

SAA3060320
SAA3060330

スバル用品株式会社

2018/07/27

ドライブレコーダーをご購入いただき、
ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い
ください。

特に“安全上のご注意”(P.4~5)“使用上のご注
意”(P.7~10)はご使用前に必ずご一読ください。
また、取り付けに関しましてはスバル正規ディ
ーラで行ってください。

CONTENTS

安全上のご注意	4
ご使用前に	6
使用上のご注意	8
製品の特長	11
製品の構成	12
各部名称	14
micro SDHCカードの挿入、取り出し方法	16
音声録音/音声案内	17
録画方式	18
LED動作	20
録画可能容量について	22
micro SDHCカードのファイル構成とタイムギャップ	23
micro SDHCカード内の構成	24
映像の再生	25
micro SDHCカードのフォーマット	26
本体ソフトウェアのアップデート方法	27
その他のサポート情報	28
製品仕様	29

安全上のご注意

- 安全に正しくご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。
- お読みになった後はいつでも確認できる場所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

⚠ 注意

この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

取付作業をはじめる前に

⚠ 警告

- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側コードをはずす…
ショート事故による感電や、けがの原因となります。



結線の注意

⚠ 警告

- コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…
ステアリング、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。
- 接続コード類の配線は高熱部を避けて行う…
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
- エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…
エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やけがの原因となります。



⚠ 注意

- 正規の接続をする…
誤った接続をすると、火災や事故・故障の原因となることがあります。また、ケーブルの改造をしないでください。
- 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。



安全上のご注意

⚠ 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない…
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。
- 本製品を次のような場所に取り付けない…
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所に取り付けると運転操作を妨げたり、はずれたりして、けがや交通事故の原因となります。
- 取り付けは付属の位置決めシートを使って、正しい位置に取り付けてください。
アイサイト車は指定位置外に取り付けると、アイサイト機能に支障が出る可能性があります。



使用時のご注意

⚠ 警告

- 故障のまま使用しない…
故障した状態ではご使用にならず、必ずお買い上げの販売店もしくは弊社サービスにご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
- 異常のまま使用しない…
万一煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちにご使用を中止して必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズは規定容量のヒューズを使用する…
ヒューズを交換するときは必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズをご使用されると火災の原因となります。



⚠ 注意

- 他の無線機やテレビ・テレビチューナー・ラジオ・パソコン・GPSなどの近くで使用すると、影響を与えたり受けたりすることがあります。
- 本製品のケースを取り外さないでください。ケースを外すと内部の部品が破損することがあり、保証の対象外となります。
- 本製品で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に抵触しないように注意してご利用ください。本製品は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。
- 本製品は日本仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- 炎天下の駐車中は日射により本体が高温になります。注意してください。

ご使用の前に

電源が入ったままの状態でもicro SDHCカードの抜き挿しを行うと、録画されたファイル又は、micro SDHCカードが壊れてしまうなど、ドライブレコーダーが正常に作動しなくなる場合がありますので、下記手順をお守りください。

micro SDHCカードの抜き挿し手順

<micro SDHCカードの抜き方>

1. エンジンを停止、またはACCをオフにし本体の電源が切れるのを待ちます。
2. ドライブレコーダーのLEDの消灯を確認します。
3. ドライブレコーダーからmicro SDHCカードを取り出します。micro SDHCカードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜きます。

<micro SDHCカードの挿し方>

1. 本体の電源が切れている状態でmicro SDHCカードを挿入します。micro SDHCカードは向きに注意し、カチッと音がするまで挿入してください。



microSDHC カードカード使用上の注意事項

- ※ 本機でお使いいただく microSDHC カードは、本機専用としてお使いください。
- ※ 本機で使用中の microSDHC カードを他の用途で使用すると正常に動作、録画ができなくなる場合があります。
- ※ 他の機器で使った microSDHC カードを使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。microSDHC カードのフォーマットを行うとカード内の全てのデータが削除されます。
- ※ 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。
- ※ microSDHC カードは分解、改造、その他加工はしないでください。
- ※ 大切なデータは PC やほかの記録メディアなどにバックアップを作成してください。
- ※ microSDHC カードは消耗品です。定期的に記録映像を確認し、6 ヶ月を目安に交換されることをお勧めします。
- ※ 使用できる microSD カードは microSDHC カードの CLASS10、または CLASS10 UHS-I 対応品です。microSD カード、microSDXC カードには対応していません。(P.7 対応一覧表参照)

使用上のご注意



microSDHC カードカード使用上の注意事項

- ※ ファイルの移動、削除、名前の変更等の操作は microSDHC カード上では行わないでください。これらのファイル操作は PC にコピーしたデータ上で行ってください。microSDHC カード上のデータを変更した場合は、再度本機でフォーマットを行ってください。

パソコンでの表示容量について

専用のファイルシステムとなっているため、使用した microSD カードをパソコンに接続した際、録画ファイル数が少なくても使用領域が多く表示されます。

表示例



録画ファイル数が少なくても使用領域が多く表示されます。

SDメモリーカード対応一覧表

本機はmicro SDHCカードのCLASS10、またはCLASS10 UHS-Iに対応しています。

micro SDカード、micro SDXCカードには対応していません。

すべてのmicro SDHCカードの動作を保証するものではありません。

スピードクラス	micro SDカード	micro SDHCカード				micro SDXCカード
		4GB	8GB	16GB	32GB	
UHS-I CLASS 10	対応していません		○	○	○	対応していません
CLASS 10			○	○	○	
CLASS 6 以下		対応していません				

使用上のご注意

保証範囲

- ・本製品は事故などで衝撃のあった時点で録画するイベントレコーダーではありません。
- ・ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。録画ファイルの間にはタイムギャップ(無録画時間)が存在します。
- ・録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画としてご利用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- ・本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責を負いません。
- ・本製品は車の状態や車両事故などで製品が破損したり、micro SDHCカードの問題で録画ができない場合もあり、それらにより生じる損害に対して弊社は責を負いません。
- ・車両運行前に製品の動作状態をご確認ください。
- ・スバルの指定した車両以外に取り付けた場合は、正常な動作を保証できません。

次の場合は故障ではありません。

- ・LEDの信号機やテール/ストップ/ウインカーランプは録画した画像で点滅したように映ることがあります。
- ・録画した映像はスマートフォンやタブレット端末に搭載されている動画再生アプリによっては再生できない場合があります。
- ・作動中に再起動し、「常時録画を開始します」のアナウンスがあることがあります。
- ・Gセンサーは衝撃の方向によって検知が異なるためイベント録画ファイルが生成されない場合があります。

使用上のご注意

製品を誤って扱った場合、重傷や死亡に至る危険な状況に繋がることがありますので、お取り扱いには充分ご注意ください。

ドライブレコーダーを分解、改造しないでください

- ・感電や火災など車両破損及びデータ損失の原因となります。
- ・製品の点検、修理はお買い上げの販売店へお申し付けください。

運転中にドライブレコーダーの操作を行わないでください

- ・操作が必要な場合は、安全なところに駐車してから行ってください。

ドライブレコーダーを高温及び低温に長時間放置しないでください

- ・一定以上の高温下、低温下では異常な動作をする場合があります。
- ・結露のない状態でご使用ください。

ドライブレコーダーのレンズは常に清潔な状態でお使いください

- ・レンズが汚れますと画質が低下します。
- ・お手入れは、レンズクロスなどで拭いてください。

ドライブレコーダーを長時間使用する場合、通風を良くしてください

- ・本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。

本製品のご使用により受信状態の悪い(微弱電波)のラジオ放送では、雑音が入る場合があります。

取り付け位置によってはバイザーを使用する際本体に接触し、カメラに衝撃が加わる可能性がありますので、ゆっくり下げてください。

本体の清掃、お手入れの際には、水、ワックスその他洗剤を本体にかけないでください。

- ・故障や感電を引き起こす可能性があります。

ケーブルは動かないよう固定し、コネクタにしっかり挿入してください。ケーブルが傷んだ場合は使用を止め、修理を依頼してください。

使用上のご注意



GPS信号受信についての注意事項

- 初めてご使用になるときや、長い間電源を入れていなかったときなど、内部の二次電池が充電されていない場合、GPS衛星から信号を受信し、位置を測位するまで長時間かかる場合があります。また、この場合、日時が正確でないファイルが作成されることがあります。GPS衛星から信号を受信し、日時が修正されると次のファイルからは正確な日時で作成されます。
- GPS衛星からの信号を受信できない場所(トンネルや地下、ビル等に囲まれた場所など)では、位置情報が記録されません。
- 受信環境によって位置の測位に時間がかかる場合や、位置情報にズレが生じることがあります。

製品の特長

コンパクトサイズ

GPSアンテナを取り付け部に内蔵し、スッキリとした小型サイズを実現しています。

高解像度カメラ

200万画素CMOSイメージセンサーを搭載し、フルHDサイズで録画します。

録画モード

常時録画

自動的に起動し、映像をNormalフォルダーに保存。

手動録画

任意で映像を記録し、Manualフォルダーに保存。

音声案内機能

動作状態を音声でお知らせします。

Gセンサー搭載

内蔵Gセンサーが衝撃を検知し、しきい値を超えた場合映像をEmergencyフォルダーに保存します。

専用ソフト(ビューア)対応

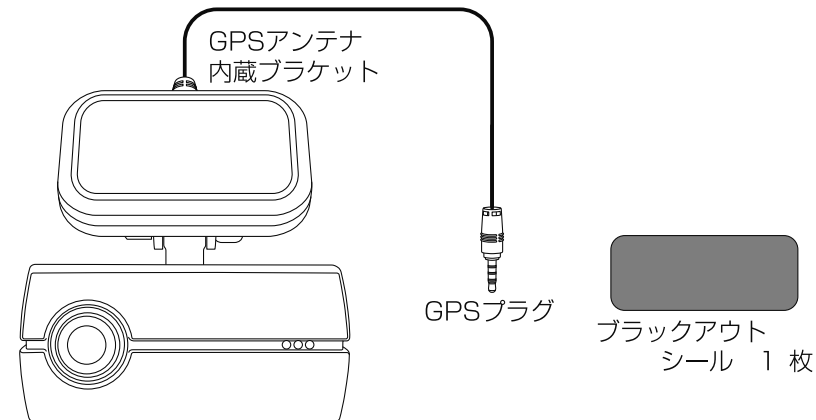
パソコンに専用ソフトをインストールすることで録画ファイルの位置情報(GPS、Gセンサー)を活用した再生が楽しめます。



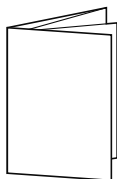
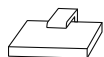
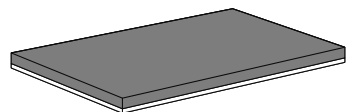
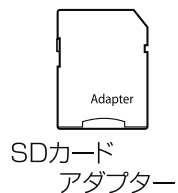
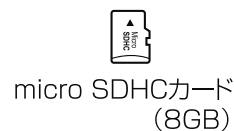
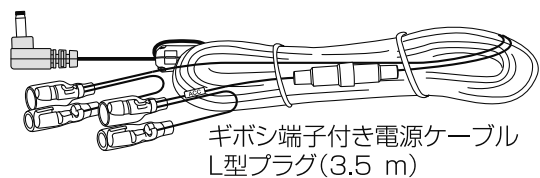
製品の構成(同梱品一覧)

■ 製品購入後、同梱品をご確認ください。

SAA3060320同梱品一覧



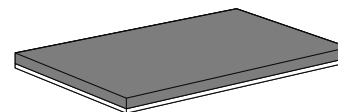
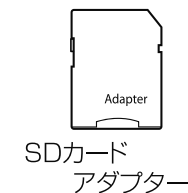
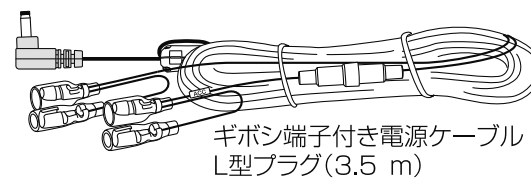
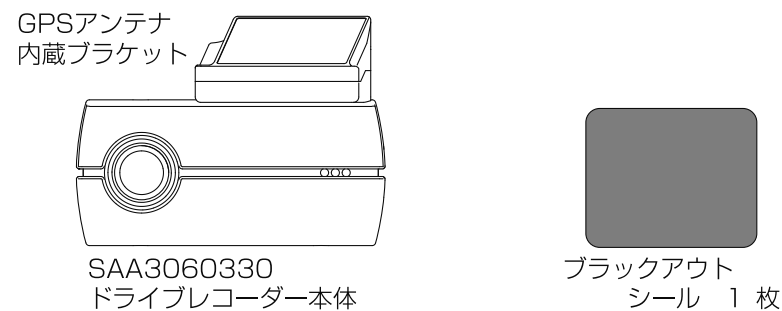
SAA3060320
ドライブレコーダー本体



製品の構成(同梱品一覧)

■ 製品購入後、同梱品をご確認ください。

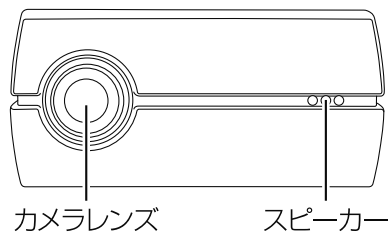
SAA3060330同梱品一覧



各部名称

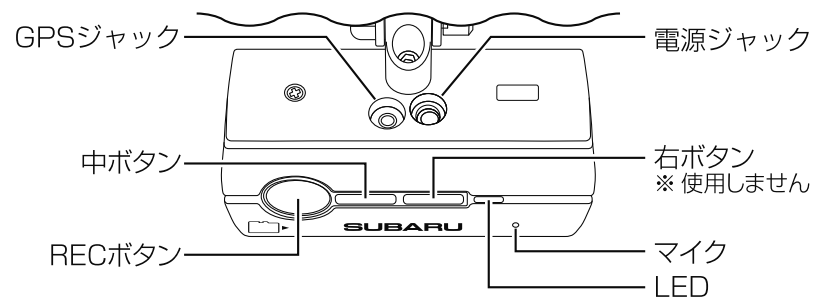
■ 前面図

SAA3060320/SAA3060330共通

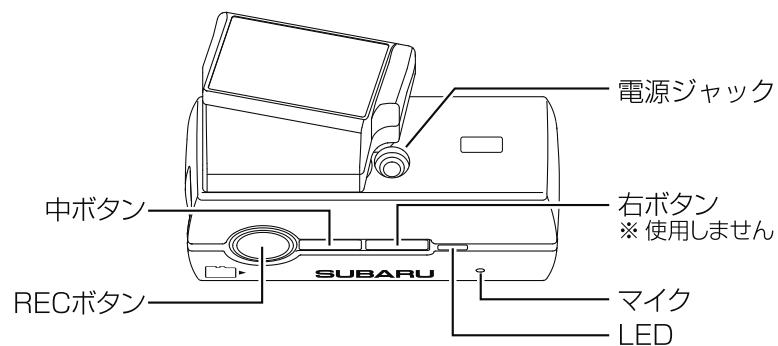


■ 背面図

SAA3060320



SAA3060330



各部名称

■ ボタン動作

RECボタン：micro SDHCカード未挿入時
短押し→音声案内停止

micro SDHCカード挿入時
短押し→手動録画開(P.19参照)
長押し→micro SDカードフォーマット(P.26参照)

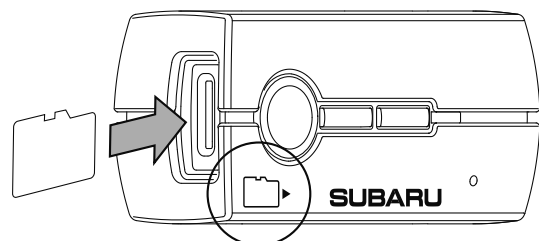
中ボタン：短押し→音声録音オン、オフ切り替え(P.17参照)
長押し→音声案内オン、オフ切り替え(P.17参照)

micro SDHCカードの挿入、取り出し方法

micro SDHCカードの抜き差しを行う場合は、必ず本機の電源がオフになっていることを確認してから行ってください。

● micro SDHCカードを図の方向にカチッと音がするまで挿入します。

※ micro SDHCカードは挿入の方向を誤ると破損や故障の原因になります。
非常に壊れやすいのでご注意ください。



挿入方向マーク

● micro SDHCカードの取り出し

micro SDHCカードを取り出すときは、軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。

※ 無理な力で行うと破損の原因になります。

micro SDHCカードの挿入、取り外し時は落下、紛失にご注意ください。

また常にmicro SDHCカードをケースに入れて持ち運びください。

(micro SDHCカード使用上の注意事項P.6を参照ください)

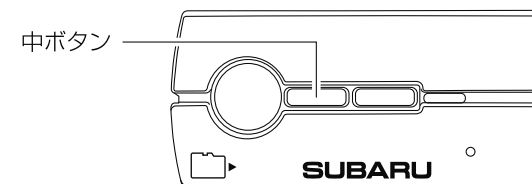
音声録音/音声案内

■ 音声録音

録画ファイルに音声を録音するか選択できます。
中ボタンを短押しすると、音声録音のオン・オフが切り替わります。

音声録音のオン：「音声録音を開始します」の音声流れます。

音声録音のオフ：「音声録音を終了します」の音声流れます。



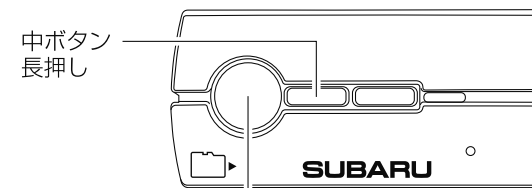
■ 音声案内

動作状況を音声で案内するか選択できます。
中ボタンを長押しすると、音声案内のオン・オフが切り替わります。

音声案内のオン：「音声案内を開始します」の音声流れます。

音声案内のオフ：「音声案内を終了します」の音声流れます。

※ 音声案内がオンのとき、micro SDカード未挿入の案内「micro SDカードがありません…」は、RECボタンの短押しで消すことができます。



※RECボタン

録画方式

録画方式は常時録画、手動録画、衝撃検知録画があります。
GPS衛星からの信号を受信し、日時を自動で合わせます。

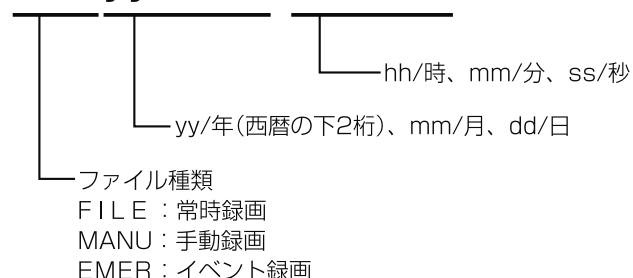
※ SAA3060320について

GPSアンテナが未接続の場合、自動で設定されませんのでGPSアンテナと本体を常に接続した状態でお使いください。

■ ファイル名について

ファイル種類+録画した年月日、時分秒の組み合わせで作成します。

FILEyymmdd-hhmmss.AVI

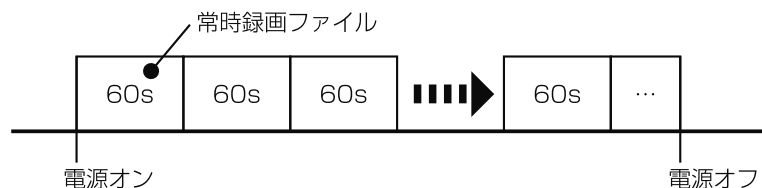


1. 常時録画

本製品はお車のエンジンを始動、またはACCがオンし、電源が入ると自動的に常時録画を開始します。開始は音声でお知らせします。

1つの録画ファイルは約60秒で作成されます。常時録画中はLEDが青点灯します。

(GPS信号を受信できない場合は青/赤の交互点滅)



保存フォルダ: Normal

ファイル名: FILEyymmdd-hhmmss.AVI

録画方式

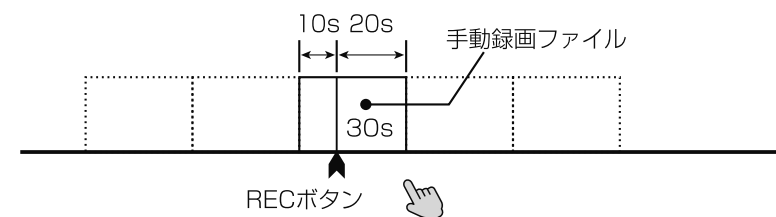
2. 手動録画

常時録画中にRECボタンを押すと、手動録画ファイルを作成します。ボタンが押されたタイミングから前10秒、後20秒、計30秒間を1つのファイルとします。手動録画中はLEDが紫点灯します。

手動録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

※ 手動録画中はボタン操作はできません。

※ 手動録画中にGセンサーが衝撃を検知するとイベント録画を行います。



保存フォルダ: Manual

ファイル名: MANUyymmdd-hhmmss.AVI

3. イベント録画

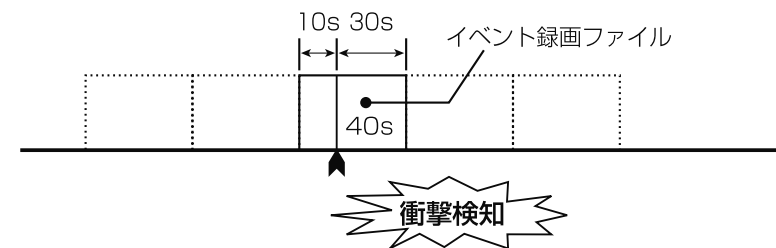
常時録画中、または手動録画中にGセンサーが衝撃を検知するとイベント録画ファイルを作成します。

検知したタイミングから前10秒、後30秒、計40秒間を1つのファイルとします。イベント録画中はLEDが紫点灯します。

イベント録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

※ イベント録画中はボタン操作はできません。

※ イベント録画開始時に「ピッ」と鳴ります。(音声案内はありません)



保存フォルダ: Emergency

ファイル名: EMERYymmdd-hhmmss.AVI

LED動作

録画動作

○点灯 ○点滅

状態 (操作)	ステータス LED	説明
常時録画時	○ 青	“常時録画を開始します” Normalフォルダ内にファイル名の先頭が「FILE」と追記された映像が保存されます。(P.18参照)
手動録画時	○ 紫 (青/赤)	“手動録画を開始します” 常時録画中、手動録画操作を行うとManualフォルダ内にファイル名の先頭が「MANU」と追記された映像が保存されます。手動録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。(P.19参照)
イベント録画時	○ 紫 (青/赤)	常時録画中、または手動録画中にGセンサーが衝撃を検知するとEmergencyフォルダ内にファイル名の先頭が「EMER」と追記された映像が保存されます。イベント録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。(P.19参照)

※ 録画ファイル構成についてはP.24をご確認ください。

基本動作

○点灯 ○点滅

状態	ステータス LED	説明
電源接続時	○ 青	常時録画を開始するまでの状態です。
GPS信号未受信時	○ / ○ 青 / 赤 交互点滅	GPS衛星からの信号を受信し、位置を測位するまではLEDが青/赤の交互点滅をします。この状態の場合は正確な時刻や位置情報が記録されません。(P.10参照)
micro SDHCカードなし	○ 赤	“micro SDカードがありません。micro SDカードを挿入してください” micro SDHCカードのエラー、または未挿入です。
micro SDHCカード異常取り出し時	○ 赤	“micro SDカードが取り外されました” 録画中にmicro SDHCカードが外され、エラー状態です。
フォーマット	○ 紫 (青/赤)	“ファイルを全て削除しました” P.26をご参照ください。

LED動作

異常時動作

○点灯 ○点滅

状態	ステータス LED	説明
録画を開始しない	○ 赤	一旦電源をオフにし、本機でmicroSDHCカードをフォーマット後、録画が正常に行われるか確認してください。 (フォーマット方法⇒P.26)
	○ 青	
頻繁に再起動する	—	フォーマットを行っても正常に動作しない場合はスバル販売店までご連絡ください。
その他のエラー発生	○ 赤	

※ microSDHC カードは消耗品です。6ヶ月を目安に交換されることをお勧めします。
※ 市販のmicroSDHC カードには性能が劣るものがあるため、指定のサービスパーツを購入されることをお勧めします。(P.28参照)

アップデート

※ アップデート方法についてはP.27をご確認ください。

○点灯 ○点滅

状態	ステータス LED	説明
アップデート時	○ 青 ↓ ○ 赤 ↓ 消灯	“アップデートを開始します。終了するまで電源を切らないでください” P.27をご参照ください。
	○ 赤 ↓ 消灯	“アップデートが終了しました。電源を入れなおしてください” P.27をご参照ください。

本製品はお車のエンジンをかけて電源がオン、またはACCがオンの状態になると約10秒後に自動的に常時録画を開始します。

※ 本製品はGPS衛星からの信号を受信し、日時を自動で合わせます。

SAA3060320について

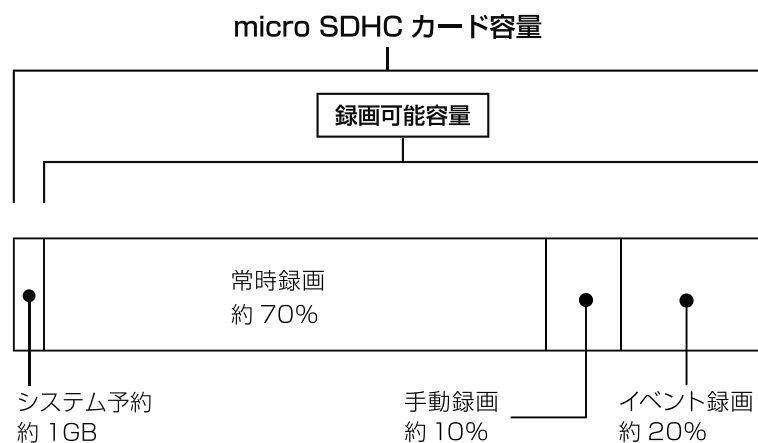
GPSアンテナが未接続の場合、日時が自動で設定されません。

GPSプラグを本体のGPSジャックに挿入し、GPSアンテナと本体を常に接続した状態でお使いください。

録画可能容量

■ 録画可能容量について

- micro SDHCカードに録画できる容量は、録画方式によってそれぞれの容量が決められています。
micro SDHCカードの容量から、システム予約を除いた残りが録画可能容量となります。
- 録画可能容量の約70%が常時録画、約10%が手動録画、約20%がイベント録画の容量となります。
※ micro SDHCカードの容量によって録画可能容量は変わります。



■ micro SDHC カード 容量別録画時間

micro SDHC カード容量	録画時間		
	常時録画	手動録画	イベント録画
32GB	約5時間	約40分	約1時間20分
16GB	約2時間30分	約20分	約40分
8GB	約1時間15分	約10分	約20分

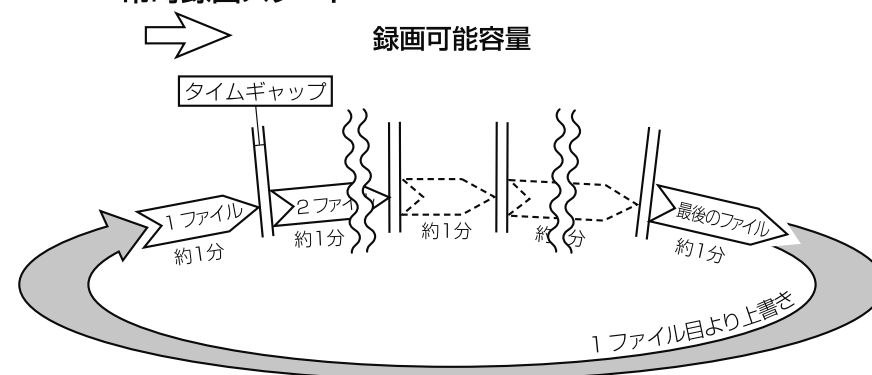
※ 各録画時間は映像の状況、録画環境によって変動しますので参考となります。

micro SDHCカードのファイル構成とタイムギャップ

■ ファイル構成

- 常時録画中は、約1分毎に録画ファイルが作成されます。
microSDHCカードの常時録画（Normal フォルダ）容量がいっぱいになった場合は古いファイルから順次上書きされます。

常時録画スタート



- ※ 録画時間が1分に満たない状態で電源を切った場合は、その時点で新しいファイルが作成されます。
- ※ 録画状況や録画環境によっては1分に満たないファイルが作成される場合があります。
- ※ 常時録画中に手動録画、及び衝撃検知があった場合にはファイル名が変更されます。手動録画はmicroSDHCカードの録画可能容量の約10%、イベント録画は約20%まで保存され、それ以降は順次古いファイルから上書きされます。
- ※ 大切なファイルは上書きされないよう、バックアップを作成してください。

■ タイムギャップ

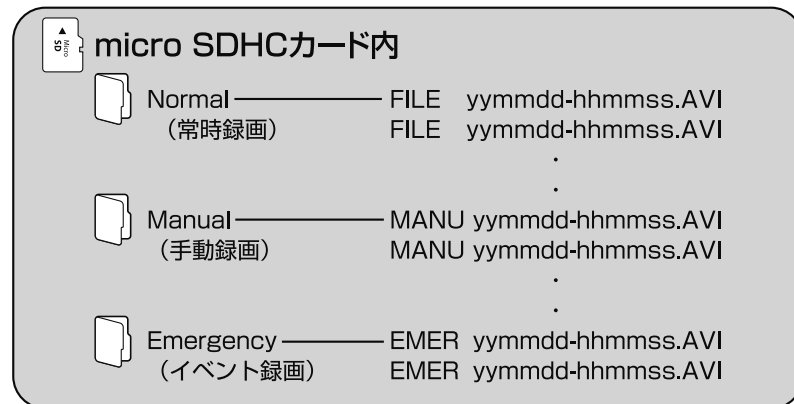
- **タイムギャップ(ファイル間の無録画時間)は理論上約0.1秒あります。**

ファイルの録画完了から新しいファイルに録画を開始するまでにタイムギャップが発生します。タイムギャップ時のタイミングで衝撃が発生した場合、録画はできません。

- ※ データ保存のためには電源を切り、LEDが消灯してからmicro SDHCカードを抜き取ってください。(P.26 参照)
- ※ 実際のタイムギャップは約0.1秒より短くなる場合があります。

micro SDHCカード内の構成

■ 録画ファイル構成



映像の再生

■ 専用ソフト(ビューア)

専用ソフトではmicro SDHCカードに保存された映像の確認と走行した位置の確認ができます。

本機で録画した映像は一般の動画再生プレイヤーでも再生できませんが走行した位置情報は表示されません。走行した位置を確認するには専用ソフトが必要です。

※ 専用ソフトで走行した位置を確認するにはインターネットの接続環境が必要です。接続していない時は地図が表示されません。

本製品に同梱のmicro SDHCカードにインストールパッケージが保存されています。

インストール方法や、操作方法については株式会社慶洋エンジニアリングのホームページで案内していますのでご確認ください。インストール前にフォーマットなどで削除してしまった場合も、ホームページからダウンロードできます。

ホームページ

<http://www.keiyoeng.co.jp>

■ 一般の動画再生ソフトで再生

1. 本機の電源をオフにした後、ドライブレコーダーのLEDが消灯したのを確認し(約10秒)micro SDHCカードを取り出します。
2. SDカードアダプターにmicro SDHCカードを挿入し、リーダー・ライター*をパソコンに接続します。
3. AVIファイルに対応した動画再生ソフトを起動し、ファイルメニュー、ドラッグ&ドロップなどでファイルを開きます。

※ 使用方法については、リーダー・ライターの取扱説明書をご確認ください。

micro SDHCカードのフォーマット

本機で使用する microSDHC カードは専用のファイルシステムとなっており、基本的にフォーマットを行う必要はありません。

microSDHC カードを本機で初めて使用する場合や他の機器で使用した microSDHC カードを使用する場合は、下記フォーマット手順に従い本機で必ずフォーマットを行ってください。

本機でお使いいただく microSDHC カードは、本機専用としてお使いください。

※本機でのフォーマットは「簡易フォーマット」です。本機でフォーマットした microSDHC カードは、表示設定を変更した PC で記録済み映像ファイルを再生することができます。

全ての映像ファイルを削除する場合は、PC で microSDHC カードのフォーマット画面の「クイックフォーマット」のチェックを外してフォーマットを行ってください。

PC でフォーマットされた microSDHC カードを使用する場合は、本機で再度フォーマットを行ってください。

⚠ フォーマットの前に

本機に同梱の microSDHC カードには専用ソフト（ビューア）のインストールパッケージが保存されています。フォーマットを行うとインストールパッケージが削除されますので、必要な場合はあらかじめ PC にインストールしてください。（P.25 参照）

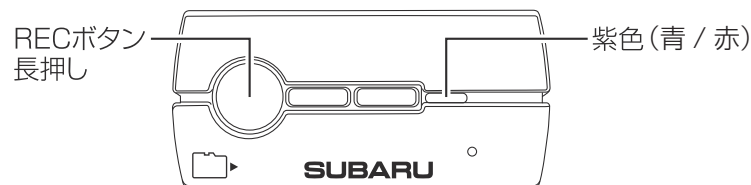
削除してしまった場合はホームページよりダウンロードできます。（P.28 参照）

■ フォーマット手順

本体の電源がONの状態、左ボタンを約5秒間押し続けると“ファイルを全て削除します”という音声案内が流れ、フォーマットを開始します。

※ 音声案内が流れるとフォーマットを中止することができません。操作には充分ご注意ください。

※ フォーマットが完了するまで micro SDHCカードを抜いたり、電源をオフにしないでください。

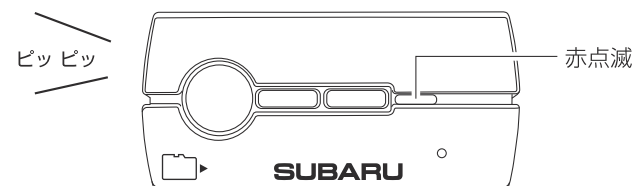


本体ソフトウェアのアップデート方法

本体ソフトの更新時には、スバル用品株式会社のホームページ上でお知らせいたします。

■ アップデートする

1. ホームページ (<http://www.e-saa.co.jp>)へPCからアクセスし、「ドライブレコーダー更新プログラム」をクリックします。
2. 本体ソフトウェアアップデートを確認し、ファイルをPCにダウンロードします。
3. ダウンロードしたアップデートファイルをmicro SDHCカードの最上階層にコピーします。
4. micro SDHCカードを本体に挿入し、電源を入れます。
5. LEDが赤色に点滅し、「アップデートを開始します」の音声流れアップデートを開始します。



6. 「アップデートが終了しました。電源を入れ直してください」の音声案内が流れるとLEDが消灯しますので、一度電源を切り、20秒ほど待ってから再度電源を入れてください。

※ フォーマットフリーのアップデートを行った際は、しばらくするとLEDが赤点灯しますので、左ボタン(丸いボタン)を長押ししてフォーマットを行ってください。

⚠ アップデート中は絶対に電源を切らないでください

アップデートが完了しない場合、ソフトウェアが破壊され、起動できなくなる可能性があります。

その他のサポート情報

■ サービスパーツについて

この製品について、以下のサービスパーツを設定しています。
必要があればお近くのスバル販売店にてお買い求めください。

SAA3060320

- 両面テープ、ブラックアウトシール …………… SAA3060321
- 電源コードセット：L型プラグ
（コードクランパー、結束バンド、ウレタンテープ付）
…………… SAA3060303
- micro SDHCカードセット（SDカードアダプタ付）
…………… SAA3060323
- 設置位置決めシート一式 …………… SAA3060324

SAA3060330

- 両面テープ、ブラックアウトシール …………… SAA3060331
- 電源コードセット：L型プラグ
（コードクランパー、結束バンド、ウレタンテープ付）
…………… SAA3060303
- micro SDHCカードセット（SDカードアダプタ付）
…………… SAA3060323
- 設置位置決めシート一式 …………… SAA3060324

■ 専用ソフト(ビューア)について

専用ソフト(ビューア)のインストールパッケージは付属のmicro SDHCカードにあらかじめ保存されています。
削除してしまった場合は、株式会社慶洋エンジニアリングのホームページよりダウンロードしてください。

ホームページ
<http://www.keiyoeng.co.jp>

製品仕様

		SAA3060320	SAA3060330
カメラ	センサー	CMOS 200万画素	
	画角	110°(水平) × 64°(垂直)	
録画サイズ	FULL-HD(1920×1080)		
録画フレームレート	24 fps		
録画ファイル	常時録画 / 手動録画 / イベント録画		
録画時間	P.18参照		
音声録音	オン / オフ 切り替え可能		
G P S	有(ブラケットに内蔵)		
Gセンサー	有		
メモリーカード	micro SDHCカード (8~32GB CLASS10 UHS- I 対応)		
	micro SDHCカード 8GB同梱		
電源	DC12 V(約190 mA 最大 約400 mA)		
サイズ W×H×D(mm)	本体	86X41X32	86X64X45
	ブラケット 取り付け時	最大81(H) 最大突起除く	—
重量 (micro SDHC カード含まず)	本体	79 g	105 g
	ブラケット 取り付け時	110 g	—
録画方式	AVI		
その他機能	マイク・スピーカー内蔵		

